

SUN ARTS DANCE SERIES

HIKARI BABA DANCE COMPANY 公演

まれびと



海のかなたの常世から訪れる

〈まれびと〉

前世、そのまた前世が折り重なった

何万年、何十万年からの魂の記憶

身体という器の中で、魂が対話する

幽体の森

抱擁の海

夜の岬の古代天文台に風が吹く

樹木も生物も、ゆらぎ、宇宙と交信し、

その魂の波動を人に伝え

いのちが煌く

人類と自然にまつわる神話を紐解き

〈まれびと〉と対話する

巡礼の旅に出る

地球生命系の確かな未来のために

2024年4月6日[土] 19:00開演 7日[日] 14:00開演

六本木 俳優座劇場

1962年当時の音源で届ける現代の“Me Too”ダンス版的「駈込」。
身体という器の中の魂を再認識し人間力の回復を問いかける、初演「まれびと」の2作品！

まれびと

構成・演出・振付：馬場ひかり

出演：馬場ひかり 手塚多希 山崎則子 黒木怜香
小栗百子 桜井矢絵 丸山はるか 高橋 郁
曲沼宏美 石川莉子・高橋純一 若羽幸平

「まれびと」— 海のかなたの常世から訪れる霊的存在。
日本の文化の源流となる自然界と人間の関係を物語る。
古代から伝えられた自然のエネルギーを得て、神と交信
する営み、自然との共存によって、人間力を回復したい
という思いが作品となった。

表現の魂が交差し続けてきた俳優座劇場（2025年4月閉館
予定）で新作発表となる。

1962年初演

かけこみ

駈込

構成・振付：美二三枝子
脚本：遠藤啄郎
出演：馬場ひかり

1962年に初演された美二三枝子の
幻のソロ作品の改訂版。2005年馬場
出演による新版の再演以来19年振り
の上演となる。女性の人権問題を捉
えながらも、詩情豊かに女性を描く当
時の衝撃作。現代のダンス版〈Me
Too〉運動に並ぶ、女性の声、心の叫
びが聞こえる作品である。



1962年 美二三枝子「駈込」

身の上不都合となり
妻てるの實家をゆすり
金子を多分にゆたり
取り候
不迷目にあまり候間
離縁候候にも
承知せず
夜中に手おめにいだし
罵にくりつけ
罪罷れかこつれ候
一命に
かわり候

当時の脚本より



馬場ひかり

HIKARI BABA DANCE COMPANY主宰、Studio F代表。幼少
より美二三枝子に師事。青山学院大学文学部英米文学科、ザ・ジュ
リアード・スクール舞踊科卒。現代舞踊協会新人賞(79)、舞踊批評
家協会新人賞(02)、現代舞踊協会群舞奨励賞(13)、ニムラ舞踊
賞(16)、江口隆哉賞(23)を受賞。1980年文化庁派遣芸術家在外
研修員として渡米。研修後、ニューヨークに拠点をおき、ダンサー、
コレオグラファーとして作品を発表するなど、国内外で活動を行う。
1999帰国、新たに自身のカンパニーを発足し、俳優座劇場、草月
ホール、東京芸術劇場などで作品を発表している。
代表作に『宙花』(2015)『Cosmic Rhapsody-宇宙狂詩曲-』
(2022)『夜叉ヶ池』(2022)等がある。



2022年「Cosmic Rhapsody-宇宙狂詩曲-」撮影：池上直哉



手塚多希



山崎則子



黒木怜香



小栗百子



桜井矢絵



丸山はるか



高橋 郁



曲沼宏美



石川莉子



高橋純一



若羽幸平

照明：斎藤 香 音響：渋谷正巳 舞台監督：依田直之 衣装：岩戸洋一 本柳里美 宣伝美術：江尻ひかる

制作：HIKARI BABA DANCE COMPANY(山崎) SUN ARTS ダンス事務局(村山) 主催：HIKARI BABA DANCE COMPANY 協力：俳優座劇場

2024年4月6日[土]19:00開演 7日[日]14:00開演 (開場は30分前)

チケット申込・お問合せ 全席自由席 【前売】一般4,500円/学生3,500円【当日】一般5,000円/学生4,000円

前売発売
1月15日

HIKARI BABA DANCE COMPANY

SUN ARTS ダンス事務局(村山)

E-mail: hikari-b@hikaribaba.com

TEL 03-3982-0025 FAX 03-3982-6273

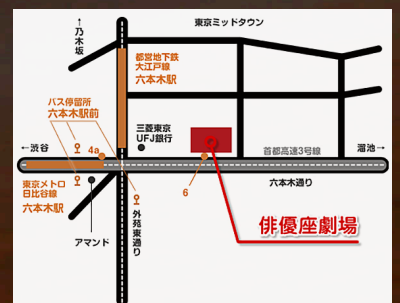
TEL & FAX 042-376-6673



<https://pia.jp/>



Pコード：523706
興行コード：2345044



六本木 俳優座劇場

〒106-0032 東京都港区六本木4-9-2
TEL：03-3470-2880

劇場アクセス 都営地下鉄大江戸線「六本木駅」6出口すぐ/東京メトロ日比谷線「六本木駅」4a出口より徒歩1分